



写真左から永井秀昭(岩手県)、渡部暁斗(長野県)、加藤大平(和寒町)、渡部善斗(長野県)

# ソチ五輪へ高感触

## 加藤大平 W杯団体3位

2013年12月1日

ノルディックスキー複合

本町出身 加藤大平選手(29)が

ソチ五輪へ向けて好発進だ!

2013年12月1日ノルディックスキー複合のワールドカップ第1戦がフィンランドのクーサモで行われ、本町出身の加藤大平選手、渡部善斗選手、永井秀昭選手、渡部暁斗選手の4人で臨んだ日本が3位に入った。日本が主要大会の団体戦で表彰台に立つのは優勝した2009年の世界選手権以来4年ぶりとなった。

日本は前半飛躍(HS142メートル、K点120メートル)でノルウェーに次ぐ2位につけた。後半の距離(4人×5km)は首位から28秒差でスタート。ドイツに抜かれたもののフランスを制し堂々の3位となった。

### 日本団体2009W杯優勝以来の表彰台へ

アンカーの渡部暁斗選手が右手を突き上げてゴールすると他の3人が笑顔で迎えた。みんなで誓った表彰台。ソチ五輪へ向け幸先よい滑り出しとなった。日本チームはジャンプに安定感がある。走力をどこまで高めるかが課題だったが、夏の練習で力をつけた日本は間違いない。メダルに近い。大平は個人戦でも課題の距離で圧巻の25人抜きを見せた。「状態はかなり良い」と大平は自分

団体戦前半飛躍の加藤大平選手



でも課題の距離で圧巻の25人抜きを見せた。「状態はかなり良い」と大平は自分

を分析する。「五輪で後悔したくない」とクールな大平は闘志を燃やしていた。



日本を3位へ導いた加藤大平選手の走り